

# 2016年9月期第3四半期決算

---

2016年7月28日

**MRI** 株式会社三菱総合研究所

---

# 1. 2016年9月期第3四半期決算と業績予想

## 2. 参考資料

---

# 第3四半期（10～6月）のまとめ

売上高： 668億円 前年同期比 +5億円（+0.8%）

- 電力・鉄道など一般産業向け増加により、前期大型実証案件の反動減をカバー

経常利益： 55億円 前年同期比 +5億円（+10.4%）

- シンクタンク・コンサルの固定費増加も、ITサービスの増収や稼働向上により、増益

純利益： 32億円 前年同期比 +0.7億円（+2.3%）

- 投資有価証券売却益の減少を打ち返し増益を維持

3Q決算・受注は概ね計画どおり。業績予想は変更なし

- 今期計画対比では順当な進捗、受注も順調に積み上がり

# 第3四半期連結決算 <前年同期比>

(百万円)

	2015年9月期 3Q累計 (10~6月)	2016年9月期 3Q累計 (10~6月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	66,308	<b>66,845</b>	+537	+0.8%
売上原価	51,383	<b>51,577</b>	+193	+0.4%
売上総利益	14,924	<b>15,268</b>	+344	+2.3%
売上総利益率	22.5%	<b>22.8%</b>	+0.3P	
販売費及び一般管理費	10,158	<b>10,117</b>	△41	△0.4%
営業利益	4,765	<b>5,151</b>	+385	+8.1%
営業利益率	7.2%	<b>7.7%</b>	+0.5P	

## ●売上高の顧客業種別内訳・前同比増減理由

(百万円)

	前3Q	当3Q	増減額	増減率	増減理由
官公庁	20,679	<b>19,067</b>	△1,611	△7.8%	前期の大型実証事業案件終了の反動減
金融・カード	26,810	<b>26,596</b>	△214	△0.8%	大口顧客2社は横ばい、その他で前期の大型基盤案件の反動減
一般産業	18,818	<b>21,181</b>	+2,363	+12.6%	電力会社や鉄道会社向けシステム開発案件等の増加

# 第3四半期連結決算 <前年同期比>

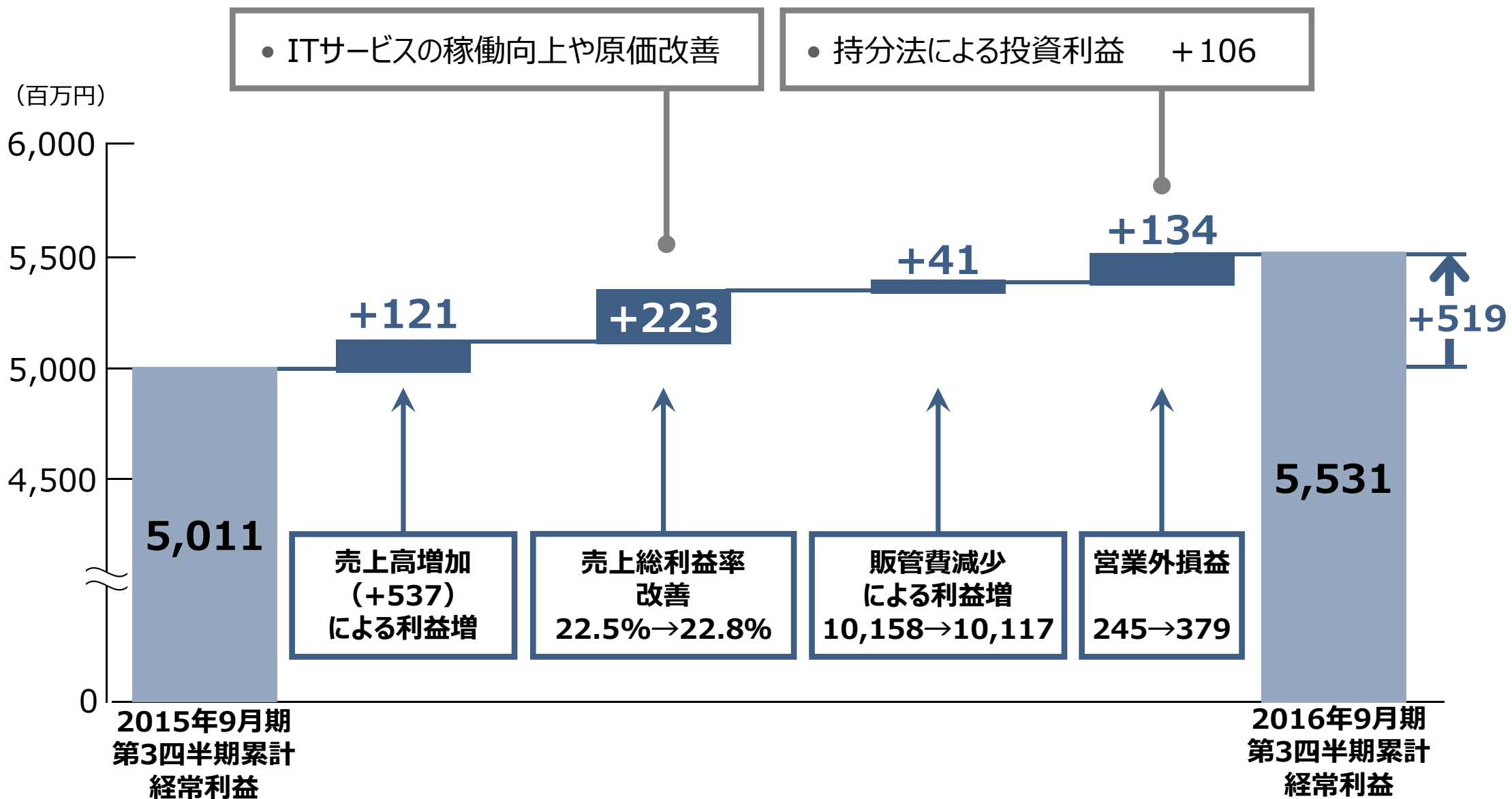
(百万円)

	2015年9月期 3Q累計 (10~6月)	2016年9月期 3Q累計 (10~6月)	前年同期比	
			増減額	増減率
営業利益	4,765	<b>5,151</b>	+385	+8.1%
営業外損益	245	<b>379</b>	+134	+54.6%
経常利益	5,011	<b>5,531</b>	+519	+10.4%
特別損益	451	<b>107</b>	△344	△76.3%
税金等調整前四半期純利益	5,463	<b>5,638</b>	+175	+3.2%
法人税等	2,021	<b>2,067</b>	+45	+2.3%
非支配株主に帰属する四半期純利益	240	<b>295</b>	+55	+23.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,201	<b>3,274</b>	+73	+2.3%
1株当たり四半期純利益 (円)	194.92	<b>199.40</b>	+4.48	+2.3%

## ● 特別損益の前年同期比増減理由

	前3Q累計	当3Q累計	増減額
投資有価証券売却益	<b>475</b>	<b>141</b>	△334
その他	△24	△34	△10

# 経常利益の変動要因 <前年同期比>



# シンクタンク・コンサルティングサービス

(百万円)

	2015年9月期 3Q累計 (10~6月)	2016年9月期 3Q累計 (10~6月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	29,154	<b>27,748</b>	△1,406	△4.8%
営業利益	3,693	<b>3,040</b>	△652	△17.7%
営業利益率	12.7%	<b>11.0%</b>	△1.7P	
経常利益	3,765	<b>3,211</b>	△554	△14.7%
受注高	24,249	<b>27,717</b>	+3,468	+14.3%
受注残高	20,509	<b>22,944</b>	+2,435	+11.9%

## 主なポイント

- 一般産業（鉄道、電力等）向けが増加も、官公庁向けの大型実証事業案件の反動減により、減収
- 減収および賞与や事務所賃借料などの固定費増加の影響により、減益
- 受注は案件が着実に積み上がり順調。受注残高も大型実証事業案件の反動減の解消でプラス転換

# ITサービス

(百万円)

	2015年9月期 3Q累計 (10~6月)	2016年9月期 3Q累計 (10~6月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	37,153	<b>39,097</b>	+1,943	+5.2%
営業利益	1,036	<b>2,073</b>	+1,036	+100.0%
営業利益率	2.8%	<b>5.3%</b>	+2.5P	
経常利益	1,207	<b>2,259</b>	+1,051	+87.1%
受注高	35,382	<b>40,963</b>	+5,580	+15.8%
受注残高	34,673	<b>38,375</b>	+3,702	+10.7%

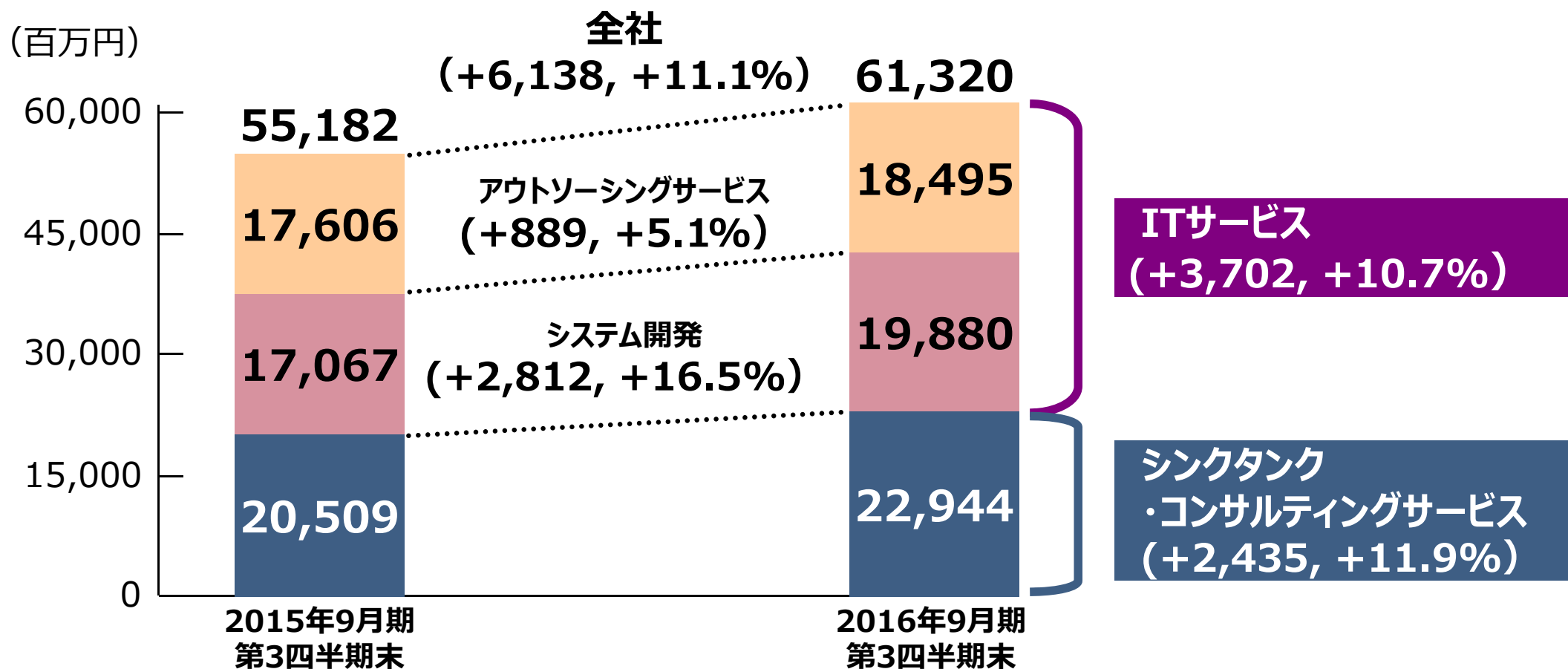
## 主なポイント

- 電力会社の大型システム開発案件などの一般産業向けの伸長により、増収
- 増収に加え、リソース配分の改善や外注費・販管費等のコスト抑制が寄与し、大幅な増益
- 受注高は大口顧客を中心に金融・カード会社向けが堅調に推移



# 受注残高 <前年同期末比>

受注が順調に積み上がり、両セグメントとも、前同比で1割超の増加



## 2016年9月期 連結業績予想

前回(2016/4/27)予想から修正なし

(百万円)

	2015年9月期 実績 ①	2016年9月期 (予想) ②	前期比	
			増減額 ②-①	増減率
売上高	85,354	<b>88,000</b>	+2,645	+3.1%
シンクタンク・コンサルティングサービス	35,030	<b>34,000</b>	△1,030	△2.9%
ITサービス	50,324	<b>54,000</b>	+3,675	+7.3%
営業利益	5,552	<b>5,800</b>	+247	+4.5%
営業利益率	6.5%	<b>6.6%</b>	+0.1P	
経常利益	5,813	<b>6,150</b>	+336	+5.8%
シンクタンク・コンサルティングサービス	3,546	<b>2,950</b>	△596	△16.8%
ITサービス	2,231	<b>3,200</b>	+968	+43.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,692	<b>3,550</b>	△142	△3.9%
1株当たり当期純利益 (円)	224.83	<b>216.15</b>	△8.68	△3.9%

## 1. 2016年9月期第3四半期決算と業績予想

---

## 2. 参考資料

# 新たな取り組み

## 国内中堅製造業の競争力強化 – 横河ソリューションサービス(株)と協業

- MRI：ものづくりにおける最新技術開発・基盤整備、製造業向け経営コンサルに実績
- 横河SS：最適な設備運用管理をベースに、製造現場の課題解決コンサルに強み
- 両社の知見・ノウハウを活かし、現場改善の効果のキャッシュフロー表示により経営目線から現場改善施策を取捨選択できる仕組みをご提供

## 日本版CCRCを全国展開へ – (株)コミュニティネットと業務・資本提携

- Cネット：プラチナ・コミュニティ型高齢者施設開発・運営のパイオニア、全国9ヶ所で展開
- 同社ノウハウをMRIがパッケージ化、フランチャイズ的仕組みで全国展開へ

\* プラチナ・コミュニティ（日本版CCRC）：健康時から介護時まで安心して暮らせるシニアコミュニティ。全国263の自治体が推進意向を表明

## 社会課題をビジネスで解決 – 未来共創イノベーションネットワーク創設へ

- 産官学市民が連携、世界の知を最適に組合せ、課題解決と成長を図るプラットフォーム
- 国内外のネットワークを駆使し、イノベーションのエコ・システム構築へ

### 将来の見通しに関する注意事項

この資料は、将来の見通しに関する記述を含んでいます。予想値を含めこれら将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいた当社の判断によるものです。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、予測困難なリスクや不確実性を内包するものです。したがって、実際の業績等は、これら種々の要因によって見通しと異なる結果となることがあります。

当社は、将来の事象や新たな情報等を反映して、将来の見通しに関する記述を更新したり改訂したりする義務を負いません。



株式会社三菱総合研究所

経理財務部 IR室

TEL : 03-6705-6001  
FAX : 03-5157-2171  
E-mail : ir-info@mri.co.jp  
URL : <http://www.mri.co.jp/>